

NEWS 17 通級による指導に関する校内研修会を実施しました！ (特別支援教育に関すること)

7月5日(水)、「通級による指導事例検討 障害による困難さ疑似体験—合理的配慮&UD(ユニバーサルデザイン)化—」と題して、校内研修を実施しました。

本校では、令和3年度入学生から、毎年通級による指導の希望者を受け入れており、保健相談部と年次担当を中心に通級による指導を進めてきました。今年度は、研修を年間行事計画に位置付け、誰もが「通級による指導をできる」を目標に、組織的に進めています。

研修では、NPO法人星槎教育研究所、石田博彰様を講師に招き、本校生徒2名の事例研究、疑似体験、UD化の理解についてお話をいただきました。

研修には多くの教職員が参加し、参加した教員からは、「疑似体験で、生徒の感覚の一端を知ることができた。」「事例検討で取り上げた生徒についての理解が深まり、これから指導方法を改めようと思った。」「(1時間弱の研修では)時間が足りない。」という感想が寄せられ、意識の高まりがうかがえました。

本校は、今後も生徒の実態に応じた指導を行い、一人一人の学習上・生活上の困難を改善・克服を支援し、将来の社会自立や社会参加を目指します。

